



みねおか地区コミ協

発行
 峰岡地区
 コミュニティ協議会
 〒953-0072
 西蒲区鷺ノ木1633-9
 TEL&FAX
 0256-73-4055

3月末から4月中旬にかけて
 みられる薄暗い谷間の水面に映
 える水芭蕉の純白な佛炎苞（ぶ
 つえんほう）は、静寂
 な中で幽玄な美を演出
 しています。水芭蕉は、
 本州の中部以北の日本
 海側の多雪地帯に多く
 見られます。

この水芭蕉は、寒冷
 期に新潟平野一帯に分
 布を広げた群落で、温
 暖化に伴い後退する過
 程で、谷間に隔離的に
 残存したものと思われ
 ます。

ここ天狗の谷のよう
 に海拔8mの常緑広葉
 樹林域の湿地帯に自生
 しているのは珍しいと
 言えます。この群落が
 これまで残存できた要因は、夏
 でも涸れない湧き水の流れと谷
 間周辺に生える樹木の木陰が、

天狗（てぐり）の谷の水芭蕉

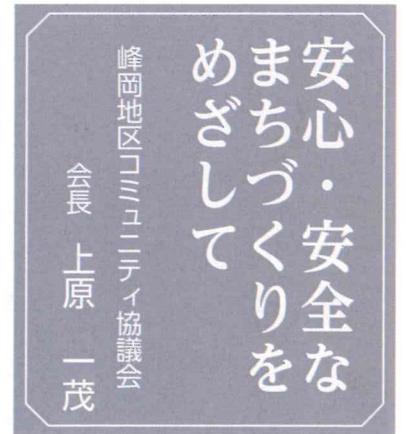
タンポポ、ススキなどの陽性植
 物の繁茂を抑えてきたからと考
 えられます。

みんなの手で
 住みやすい
 まちづくり

最近では、群落が広が
 ってきていますので、
 地域の宝として大切に
 守り育てていくことが
 必要だと思っています。
 是非一度お出かけく
 ださい。また、西蒲区
 北国街道まち歩きガイ
 ドの会では、仁箇まち
 歩きコースの中にこの
 水芭蕉の散策を含めて
 おりますので、参加を
 ご検討ください。

北国街道まち歩きガイドの会
 大橋達一さん





地域の皆さまにおかれましては、健康やかに過ごしのこ

とと存じます。コロナウイルス感染症もなかなか終息を見ない中で、皆様にとっても不自由を感じられていることでしょうか。基本的な感染予防はこれからもしっかりと続けていっていただきたいと思

ます。コロナウイルス感染症はコミ協にとっても例外ではなく、総会を大勢が出席をしない書面表決で開催したり、敬老会もこれまでと変えて、75歳以上のかたへ記念品をお届けすることに變更しました。また、健康教室やカーリンコ

ン競技など健康づくり事業では感染予防マニュアルに合わせ、気をつけながら元気に活動しています。

昨年11月に峰岡地区まちづくり懇談会を開き、新潟市の副市長はじめ西蒲区長、区役所の関係課長の皆さんからご出席いただいて「自分たちの地区をどのように発展させ、地区の皆さんが安心安全に暮らせるには、どうすればよいのか」などについて、意見交換しました。

また、区内で年1回開かれるコミ協交流会が当地区で行われ、西蒲区内9コミ協から40名が出席してワークショップを行い、それぞれのコミ協の特徴や取り組み、困りごとなどについて意見交換し研修しました。

12月には、地域の福祉を推進する福祉座談会を開いて、「防災をポイントにした支え合える関係づくりと情報共有」についてグループワークを行い、防災や支え合いなどどんなときでもやはり人と人のつながりが重要であると確認しました。

当地区も少子高齢化や若い人の流出で人口が減り高齢化が進

んでいます。また空き家が増えたり公共交通が衰退して年々地区の活力が低下していくことが大きな問題となっています。

これらへの取組として、「子どもや若い人たちが地区で暮らしやすいよう支援するために何ができるか」皆さんとともに考えたい、来年度はそうした課題にも取り組んでいきたいと思っています。

これからも安心安全に暮らし続けられるまちづくりを引き続き進めていくため、皆様方のご支援とご協力をお願いします。



コロナ感染流行前のコミ協総会

令和4年度の主なコミ協事業

4月 令和4年度総会

6月 地域要望のとりまとめ提出
まき夏祭り関連米百俵事業

8月 旧巻町クリーン作戦

9月 北国街道クリーン作戦

10月 長岡まつり米百俵パレード

11月 峰岡コミ協まちづくり懇談会

12月 西蒲区コミ協交流会

峰岡地区福祉座談会

通年 いきいき健康づくり事業

通年 カーリンコ事業

通年 健康づくり教室事業
(さわやか体操)

年1回 機関紙発行事業

通年 角田山麓観光まちづくり事業
(ほたるの里を賑いスポット化)

通年 防犯パトロール

通年 古紙回収 週1回程度

通年 廃天ぶら油拠点回収 随時

新型コロナウイルス感染防止のため
内容変更または中止した事業

5月〜 放課後学習支援事業は中止

9月 峰岡地区敬老会(集台)

お祝い品の贈呈に変更

峰岡地区福祉座談会を開催

防災に役立つ
支えあえる関係づくり
と情報共有

保健福祉部会長 大橋 誠一

昨年12月19日、峰岡公民館で、西蒲区社会福祉協議会、支えあいのしくみづくり推進委員、峰岡地区コミュニティ関係者らが出席して峰岡地区福祉座談会を行いました。

この日はこの冬一番の大雪が降り参加者が半減しましたが、3つのグループに分かれて峰岡地区の地域福祉活動計画の実現を目指して「防災をポイントにした支えあえる関係づくりと情報共有」について話し合いました。

話し合われた主な内容は、地域での取り組み状況や情報の共有、支えあう関係づくりを困難にしている問題点などで、防災訓練や敬老会などイベントのなかで支援が必要な人を把握したり、高齢者宅の除雪をやっているなどの活動が報告されました。

自治会の大きさや新しい団地の有

無など条件は異なっているが、防災訓練や近所付き合いなど日ごろの交流から、支援してほしい高齢者などが手を上げやすい地域づくりを進め、高齢になっても安心して住み続けられるよう皆で考えていかなければならないことを再確認しました。



峰岡地区の地域福祉活動計画

めざす基本理念

だれもが安心して暮らし続けられる峰岡地区

めざす姿・基本目標

- 1 小地域でのささえあいを大切にする峰岡地区
- 2 だれもが安心・安全に生活できる峰岡地区
- 3 世代を超え、すべての住民がつながる峰岡地区

新民生委員・児童委員を
紹介します

私たちの生活上の相談や、さまざまな行政サービスへのつなぎ役をしてくれる民生委員・児童委員の一斉改選が行われました。

これからの3年間、峰岡地区のために活動してくださる委員の皆さんをご紹介します。

担当地区	氏名
松郷屋・平沢・福井	羽生 ヒロ子さん
峰岡・舟戸	森田 広海さん
上木島・下木島・鷺ノ木	笹川 則子さん
竹野町・天神町・越王団地	阿部 和夫さん
前田・平成ヴィラ越王台団地	高綱 敏弘さん
仁箇・上畑団地	岸本 裕子さん
すばる台ニュータウン・布目	藤田 和枝さん
稲島・伏部・ごりん石	桑原 勇さん
巻東中学校区全域 (主任児童委員)	笛木 卓さん
巻東中学校区全域 (主任児童委員)	笠原 一子さん
巻西中学校区全域 (主任児童委員)	成田 理恵子さん
巻西中学校区全域 (主任児童委員)	山賀 和之さん

(任期) 令和4年12月1日～同7年11月30日

ご相談や困りごとがある方は次の窓口へ連絡してください。

新潟市西蒲区役所健康福祉課

保護係 TEL. 0256-72-8395

地域福祉係 TEL. 0256-72-8345





峰岡地区コミ協

まちづくり懇談会

昨年11月22日18時から「峰岡地区まちづくり懇談会」を松野尾の「えびすや」で開き、新潟市役所本庁から朝妻副市長・西蒲区役所から鈴木区長はじめ各課長、峰岡コミ協から上原会長はじめ各自治会長が出席しました。

懇談会では、市役所から「新型コロナウイルスの感染状況」や「新潟2キロ」など、新しい「新潟市・

総合計画」の概要が話されました。峰岡コミ協からは「田園型都市にふさわしい西蒲区らしいまちづくり」や「峰岡地区の公共施設再編成における配慮」などの意見や要望が出され、活発な意見交換が行われました。

北国街道 クリーン作戦



北国街道クリーン作戦は当コミ協が毎年続けている環境対策活動です。令和4年度は9月25日(日)に、各自治会から2名以上の参加をお願いして行い、一昨年から実施している稲島から角田碎石へ続く角田山麓公園線のゴミを拾いました。角田方面から稲島へ向かって



ごみの回収量は燃やすごみが33kg
燃やさないごみが10kgでした。

は角田地区コミ協さんが活動に協力してくださいました。地区の角田山すそを通る旧北国街道は江戸時代に赤塚、五十嵐浜を通り新潟へ通じる重要な街道で、道沿いには地区にゆかりがある史跡が多くあり、歴史財産となっています。この街道を地区外からの観光客に案内して、豊かな自然や地区の歴史などのすばらしさを伝え残すため、景観をそこねるポイ捨て、不法投棄などから守るため引き続き活動していきます。

廃天ぷら油を 集めています



峰岡地区コミュニティ協議会では、ご家庭で使い終わった天ぷら油を引きとって、処理業者へ引き渡しています。

これは新潟市による回収が令和4年3月末で廃止されたのに伴い、コミ協で取り組むことにしたためです。

天ぷら油は植物性でガソリンなどの化石燃料と異なり、大気汚染の原因になる二酸化炭素の排出を大幅に減らすことができます。これまでの農業用のほか航空燃料などとしての需要が増えています。

廃てんぷら油は峰岡公民館が開いている時間にお持ちいただければ引き取れます。

引取時間

毎週月・水・木・金曜日の

10時～16時

電話 峰岡地区コミ協

73-4055



峰岡地区コミ協の事業の中で大きなウエイトを占めているのが健康づくり事業です。健康な人、健康な地域を増やすために毎年実施しています。

現在行っているものは、始めた時期が古い順に、カーリンコン競技事業、健康づくり教室事業、いきいき健康体操事業（さわやか体操）です。

どれも通年実施しており、開催頻度でみると毎週2回活動しているカーリンコンが最も多く、1か月に2回のさわやか体操、年間で10回実施している健康づくり教室となります。

いずれの事業も市からの補助を受けて参加費は無料にしています。参加者募集は年度はじめのほか、募集定員を超えなければ随時の参加申し込みができます。

春に向けて、健康増進に役立つコミ協の健康づくり事業をぜひご検討ください。

参加申込は 峰岡地区コミ協 TEL/FAX 0256-73-4055

事業名	主な内容	開催日	会場
カーリンコン競技	3人ずつ2チームに分かれて、順番にプラスチック製のディスクをコート内に投げ、投げ終わったら得点を計算して勝敗を決める。 県大会、全国大会もある。	毎週月曜日 午前9時30分～11時30分 毎週木曜日 午後1時30分～3時30分	峰岡公民館
いきいき健康体操 (さわやか体操)	わかりやすい講師のお話や体操で美容と健康をサポート	第2・第4水曜日 午前10時～11時30分	(西蒲区 鷺ノ木 1633-9)
健康づくり教室	6月から毎月1回実施します、月毎に「健康のための食事や栄養」と「健康のための運動」について学習します。	6月～3月の第1月曜日 午後1時30分～3時	



カーリンコン



さわやか体操



健康づくり教室 (栄養学習)

峰岡交通安全協会 活動再開

峰岡交通安全協会が、令和4年4月から活動を再開し、交通安全のぼり旗の掲揚、地区内の新潟―寺泊線側道での交通安全街頭指導所開設などを行いました。

新潟県の交通安全協会活動は昭和23年から行われてきましたが、当地区では様々な事情で休止が続いていました。

その間も他地区では安全協会活動が続けられ、小学生の通学の安全を支援するセーフティ活動の基礎を担っており、当地区に於いては学校ボランティアの一つとして住民有志によって支えられています。

このような状況から、交通安全活動を活発にするため自治会長を中心に話し合いを重ね、できることから再開していくことになりました。

これからも交通事故のない安

全で安心して暮らしていただける峰岡地区を作っていくため、活動を進めていきます。



令和4年度の活動重点目標

- (1) 高齢者や子どもの交通事故防止
- (2) 歩行者および自転車の安全確保
- (3) 飲酒運転の根絶
- (4) シートベルト、チャイルドシートの着用徹底
- (5) その他交通安全向上に必要なこと



秋の全国交通安全運動にあたり峰岡地区内の交通事故防止のために、9月24日(土) 10時～12時まで街頭指導所を開設しました。

交通道德の普及高揚を図り、交通秩序の確立と交通安全を実現するため西蒲警察署、西蒲区役所からご協力いただきました。

峰岡地区一年間無火災達成 西蒲消防署長から感謝状

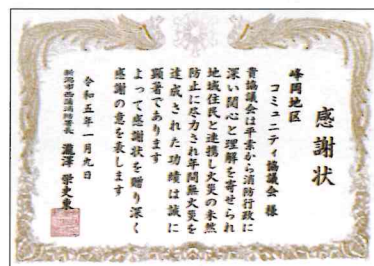
令和4年の1年間、峰岡地区では火災が1件も発生しませんでした。

このような地区の皆さんによる防火活動を高く評価して今年1月に西蒲消防署長から当コミュニティ協議会へ感謝状をいただきました。

寒さが厳しかったこの冬は火災のニュースが多く、大切な命や財産が失われました。新潟市消防局の発表によれば、新潟市内での火災発生が多い時期も1月から3月と8月となっています。

これからも地区の皆様の高い防火防災への関心と地区消防団の防火活動により無火災を続けていきましょう。

また万一、火災が発生しても早期発見、早期消火ができるよう、住宅用火災警報器(住警器)の設置も有効です。設置していた場合、人命被害が4割、焼失面積が半減という結果も得られています。



4月23日(日)ホテルの里公園周辺で

お花見フェスタが開催予定

夏の夜にホテル観賞でにぎわう、福井地区のホテルの里周辺で、今年も春のお花見フェスタが開かれます。

令和元年から地区内の子どもたち「しだれ桜オーナー」によって植樹された、約80本のしだれ桜が花を咲かせ、ソメイヨシノなどが咲き終わったころ花を楽しませてくれる隠れたスポットになっています。

フェスタが開かれる4月23日には同会場にキッチンカーや地元グルメ店、野菜の直売、愛好者による音楽演奏、地元の竹や木を使った灯ろう、カップなどを作る体験コーナーも予定されています。

このイベントを主催する角田山ろく観光まちづくり研究会(金子剛会長)は、これからも地区の歴史や自然、温泉施設や角田山登山などを活かしたにぎわいスポットづくりを進めていくことにしています。



「味噌づくり体験」をJ A巻アグリセンターで実施しました。
一昨年の「味噌づくり体験」では、子供から大人まで参加した楽しい味噌づくりとなり、翌年計画した「豚汁づくり」は出来なかつたものの、出来上がった味噌を各世帯に配り、「美味しい」と好評だったとのこと。

仕込んだ味噌は、これから1年ほどかけて発酵熟成させ、今秋には、出来上がった味噌を自治会の全世帯に配るほか、自治会の皆さんから参加してもらい「豚汁」を作ってもらいたいとのこと。



前田自治会(長井正雄会長・15世帯)では昨年12月に、地域住民の交流をはかるため、巻地区社会福祉協議会の補助事業を利用して子どもからお年寄りまで幅広い年代が楽しめる輪投げをして楽しみました。
事前に参加申し込みをした参加希望者たちは午前10時に集落センターに集まり、長井会長か

ら「あいさつを大事にしましょう」という話を聞いたあと、役員の方から輪投げのルールや投げ方のコツの説明を受けました。
このあと、5メートルほど先に置かれた2台の輪投げゴールを狙って、直径20センチくらいのビニール製の輪を続けて9本づつ投げて得点を記録、これを交代しながら3回づつ行い合計得点を競いました。
歳末の午前中という短い時間でしたが、参加者は輪投げを通じて話したり応援したりして気軽に交流していました。

同自治会では、自治会総会のほか、一斉側溝清掃、地区クリン作戦、まつり、防災訓練などを実施していますが、近年は新型コロナウイルス感染状況を見ながらの取組が続いています。

平成ヴィラ越王台団地自治会
味噌づくり体験



今回は、年末からの新型コロナウイルスの拡大に伴い、役員での「味噌づくり体験」となりましたが、前回と同じく講師の皆さんから丁寧な指導いただき無事に仕込みが終了しました。

前田自治会
輪投げ大会を楽しむました



このあと、5メートルほど先に置かれた2台の輪投げゴールを狙って、直径20センチくらいのビニール製の輪を続けて9本づつ投げて得点を記録、これを交代しながら3回づつ行い合計得点を競いました。
歳末の午前中という短い時間でしたが、参加者は輪投げを通じて話したり応援したりして気軽に交流していました。

リレー探訪

鷺ノ木の今昔

鷺ノ木自治会長
笹川 津登務

鷺ノ木自治会をご紹介します。私たちの自治会の世帯数は、長い間66世帯でしたが、40年ほど前に、旧峰岡中学校が新しい二つの中学校に分かれ、その校舎やグラウンドの跡地に団地が造成され、今では146世帯、班の数は11班になりました。

自治会内の子どもたちが通っている学校は、小学校が巻南小学校、中学校が巻東中学校ですが、竹野町と隣接する一部地域は巻北小学校、巻西中学校の学区となっています。これは学校統合前にあった竹野町小学校時代の学区の名ごりです。

おとし、コミ協と協力して新潟市の補助を受け、南小学校への通学路に防犯カメラを設置しました。



新設した防犯カメラ(右柱)

ふだん、大人の目が届きにくい道を通学する児童や散歩する高齢者を交通事故や犯罪の被害から守るために役立ってほしいものです。

近年、鷺ノ木集落も高齢化が進んでお



旧峰岡中学校 昭和55年(1980年)当時



旧峰岡中学校の跡地は現在、住宅団地に

り、高齢者だけの世帯も増えています、昔から続いている向こう三軒両隣のご近所付き合いも希薄になったと感じられます。

これからも支えあいの仕組みづくりなど新しい方法も検討しながら暮らしやすい鷺ノ木づくりに努めていきます。

編集後記

◇ 昨年末「これまでにない大寒波」から始まった今冬も、その後は穏やかに過ごすことができ、桜の季節を迎えようとしています。
みねおか地区コミ協新聞第20号をお届けします。今号には、コミ協の部会活動報告や自治会活動の報告を掲載させていただきますました。

◇ 2月に開催された「新潟市コミュニティ協議会『持続可能な地域づくり支援事業』研修会」に参加しました。
研修会では、市内のコミ協での活動報告やコミ協活動における課題の交流がされました。

また、事例発表では、濁川コミ協(北区)「活動の見直しと役割分担」、木戸コミ協(東区)「地域ニーズ把握と課題対応」、庄瀬コミ協(南区)「若い世代と女性の活用」があり、今後のコミ協活動において参考になるところが多くあり、「地域の課題を地域で考え、課題解決をめざす」コミ協の役割の大切さを改めて考えさせられました。



◇ 新年度のコミ協活動予定も掲載させていただきますました。
皆さんからのご参加をお待ちしています。